



広報

# まつだい

2004

# 8

No.537

平成16年8月15日



## 主な内容

- 合併協定調印式を終えて……………②
- 新市の市章の募集ほか……………③～④
- 農舞台 里山アート遊園地・野の師父……………⑤
- 松代町出稼組合設立40周年……………⑥～⑦
- 国民年金お知らせ/ちびっこ芸術祭ほか……………⑧～⑨
- 東京発/松代の自然ほか……………⑩～⑪
- 消防団連合演習/人権擁護委員表彰ほか……………⑫～⑬
- 文芸/お知らせ/町の行事予定ほか……………⑭～⑮

### ■松代町役場

〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252番地 1

TEL 025-597-2220

FAX 025-597-2526・597-2300

URL 松代町 <http://www.town.matsudai.niigata.jp/>

松代町観光協会 <http://www.echigo-matsudai.com/>

## 合併協定調印式を終えて

現在の松代町は、昭和29年3月31日に松代村と山平村が新設合併し、同年10月1日には、人口11,228人の東頸城郡では最初の町として「松代町」が誕生しました。その後、奴奈川村との合併を経て現在に至っております。

町制施行以来、本年度50周年となるこの節目の時、奇しくも松代町を廃し、十日町市を置くという「廃置分合」の議案を去る7月28日の松代町議会において議決いただきました。

この合併への取り組みの経緯については、既にご承知のとおりであります。昨年1月、十日町圏域5市町村での合併協議会設立以後、任意協議会を15回、法定協議会を5回開催し、850項目を超える協議項目について審議し、協議を進めてきました。

なかには、5市町村の取り組みに大きな差があり、協議に時間を費やした項目もありましたが、お互いの立場を尊重し互議の精神で困難を乗り越えて、今年6月22日の最後の協議会を以つ

て全ての協議が整い終了いたしました。

各町村から等しく選出された協議会委員の皆様方を始め、新市将来構想検討委員の皆様方のご努力によるものと心から敬意を表するものであります。

このたび7月23日には、5市町村による「合併協定調印式」が行なわれ、28日には各市町村議会において「廃置分合」の議決がなされ、8月5日県知事への合併申請の提出。そして今後、県議会の議決を経て総務大臣告示により平成17年4月1日に新「十日町市」がスタートすることになります。

当町の少子高齢化の進行は、県下でも高い水準にあり、年々高い行政サービスが求められてきております。私は市町村合併によって行財政基盤の強化を図らなければ、住民の暮らしを守ることができないと考えております。

合併に関する意向調査で、合併は必要だという町民の約80%の人が十日町圏域を望んでいる

結果をふまえ、これまで十日町圏との合併を推進してきました。十日町・中魚沼圏とは、行政の取り組みには多少の違いはあるものの、当町は、買い物、医療、消防、ゴミ処理など十日町との結びつきも深く、今後の行政運営にも大きな変化はないものと考えます。

今後はこの協定事項や新市建設計画に定めた、松代地域整備方針に記載された目標の実現化に向かって、新市議会議員や地域協議会委員の皆様方、そして支所機能を十分に発揮して松代町の特性を活かした地域づくりを努めて行かなければなりません。そうすることが、新市の将来の発展につながっていくものと思えます。

合併後の周辺地域の不安を解消してゆくために、各町村役場が支所として残り、これまでの住民サービスが低下しないような充実した支所機能の体制をとります。また、行政と住民の協働もと、地域の個性を尊重し、

それぞれの地域の特性を活かしたまちづくりを行なうため、旧町村単位に「地域協議会（地域

自治組織）」が設置されます。

松代町では、広く住民意見を反映させるため、旧村単位に振興会を組織していただき、地域固有の事業の実施や各集落の市への要望事項の取りまとめなどを行ない、各振興会の統括として「松代地域協議会」でそのとりまとめを行います。この協議会は、支所の所管する事務のうち地域の個性を活かした事務事業に対しての諮問機関となり、住民の意思を集約する機関となります。また、新市建設計画の当町の区域に関することや、重要事項を決定し市長への意見具申・要望をすることも行ないます。

私はこれまで、市町村合併は合併することが目的でなく、今より良い市民生活ができるための手段でなければならぬと申し上げてきました。これからは新市民がいち早く融合し、夢を耕しつづける感動と創造のまちづくりに向かって力を合わせて行くことこそが肝要かと思っております。皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

松代町長 関谷 達治

# 十日町市・川西町・中里村 松代町・松之山町 十日町 合併協定調印式

日時 7月23日(金)  
会場 十日町市 クロス10

議会議員や行政囑託員など約400人の出席者が見守る中、川上忠義副知事立会いのもと、十日町市、川西町、中里村、松代町、松之山町の各市町村長が合併協定書に調印した。

これを受け、7月28日に各市町村で開催した臨時議会で、合併の最終議決となる廃置分合議案が可決され、いよいよ来年4月1日に新生「十日町市」が誕生する。



調印した合併協定書を提示する川上副知事(左三)と各市町村長

合併協議会長の滝沢信一十

日町市長は「地方分権時代に、自治能力の向上が求められている。市民と行政が協働することにより、新市の将来像である『雪・自然・農が織りなすぬくもりと躍動のまち』が実現できるものと確信している」とあいさつし、新市への期待を膨らませた。

また、平山県知事からは「合併後は当地域が有する多種多様な資源や個性を有効活用しながら、住民一人ひとりの知恵を結集して、新市の基本理念である『夢を耕しつづける感動と創造のまちづくり』をすすめていくことを期待する」とした祝辞を川上副知事が代読して、県としても新市建設計画の事業遂行に向け、支援していくことが述べられた。

## 新市建設計画を閲覧できます

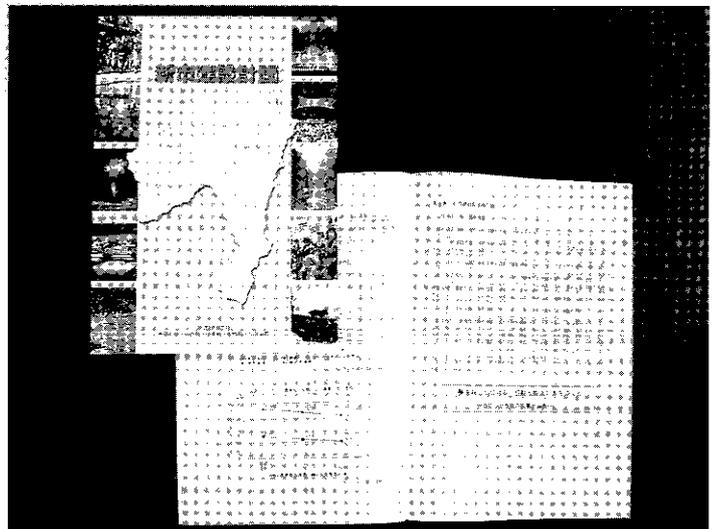
新市建設の基本方針や施策などを定めた「新市建設計画」が役場窓口でご覧いただけます。

〈新市建設計画の内容〉

- ・ 主要指標（人口推移、産業動向など）
- ・ 新市建設の基本方針
- ・ 新市の施策
- ・ 新市における県事業の推進
- ・ 公共施設の適正廃置と整備
- ・ 財政計画 など

閲覧場所：松代町役場 総務課窓口

時間：午前8時30分～午後5時15分



# 十日町広域圏合併までの経過

- 平成12/3/15 東頸城郡町村会で行政体制整備に関する意識調査実施（郡内全有権者）  
（合併賛成38% 内十日町地域希望66%）
- 12/12/14 東頸城郡町村合併検討協議会発足（各町村長、議長）
- 13/7/12～ 町内23箇所で合併住民説明会開催
- 13/12/20 議会市町村合併調査特別委員会設置
- 14/1/10 合併に関する住民アンケートの実施・回収（町内全有権者）  
（合併賛成62% 内十日町地域希望88%）
- 14/3/28 松代町が東頸城郡町村合併検討協議会から脱退
- 14/4/30 十日町広域圏六市町村合併問題研究懇談会を各市町村長で設立（7月24日の懇談会より各議長も加わる）
- 14/11/25 十日町広域圏合併任意協議会設立準備会設立
- 14/12/3 松代町市町村合併審議会設立
- 15/1/25 十日町広域圏合併任意協議会設立（延べ15回の任意協議会を開催）
- 16/3/30 松代町議会で合併法定協議会設置議案を可決
- 16/4/1 十日町広域圏合併協議会設立（延べ5回の協議会を開催）
- 16/7/23 合併協定調印
- 16/7/28 松代町議会で合併に関する廃置分合議案を可決



平山県知事へ合併申請書を提出(8月5日)



## 合併後の新生「十日町市」の市章を制定するため、デザインを募集します。

募集期間：8月5日(木)～9月23日(木)

### 【募集する市章の基準】

- (1) 「夢を耕しつつける感動と創造のまちづくりー自立した市民の知恵と協働ー」というまちづくりの基本理念を掲げて実現していく、新生「十日町市」が目指す将来の姿「雪・自然・農が織りなす温もりと躍動の大地（まち）」にふさわしい市章であること。
- (2) 市旗やバッジ等にも使用できるデザインであること。
- (3) 用紙の地色を含め4色以内とする。なお、グラデーションは不可とする。
- (4) 自作の未発表作品であること。
- (5) 他市章及び他商標等と類似しないものであること。

### 【著作権等】

採用作品に対する著作権等について。

- ①採用作品に関する一切の権利は、協議会及び新生「十日町市」に帰属します。
- ②採用作品の使用にあり、作品に若干の変更を加える場合があります。また、モノクロにする場合があります。
- ③応募作品は、返却しません。

### 【賞金】

- ①最優秀賞（市章採用作品） 1点 賞金100,000円
- ②優秀賞（市章候補作品） 4点以内 賞金 10,000円

### 【応募方法等】

- (1) 応募資格は、問いません。また、同一人の応募は3作品までです。
- (2) 募集期間は、平成16年8月5日(木)から平成16年9月23日(木)までです。
- (3) 応募用紙は、専用の応募用紙または縦横15センチメートルの枠を書いたA4サイズの白色用紙を縦長で使用し、用紙1枚につき1作品とします。
- (4) 応募に当たっては、「市章」の他に「デザインの趣旨（150字以内）」、応募者の「住所」及び「氏名」を用紙に記載してください。
- (5) 応募方法は、封書による郵送又は持参に限ります。

### 《応募先》

十日町広域圏合併協議会事務局  
所在地 〒948-0085 新潟県十日町市寅甲1番地1  
旧織物会館2階  
TEL 0257-52-7725 FAX 0257-52-7726  
E-mail to-gappei@iris.ocn.ne.jp

### 【選定方法】

協議会の「新市の市章選定小委員会」において、応募作品の中から市章候補作品5点以内を選定します。その後、住民アンケートを経て、本年12月を目処に、協議会で市章採用作品1点を決定します。

8月末まで開催



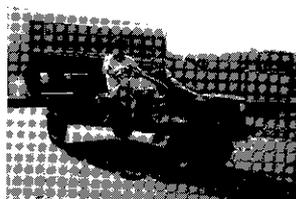
## 「里山アート遊園地〜 家族でわっしょい」開催中



まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」では、1階イベントスペースにおいて「里山アート遊園地〜家族でわっしょい」を開催しています。

施設内全ての部屋がアート作品である本館で、アーティストが作った一味変わった遊具による「遊園地」を開園しています。

ボールとゴールで、新しいゲームを考えるもの。回転するシーソーや球体ジャングルジムの中に入って転がして進むものなど一風変わったアトラクションが待っています。



そして、週末には、耕運機で園内を周る「耕せ里山の風景：コーウンキでGO!」や昔の農具を体験できるコーナーも用意しています。

この夏は家族みんなで農舞台でわっしょい!

〈土・日特別開催〉

### 耕せ里山の風景・コーウンキでGO!

農舞台周辺の渋海川沿いを周遊します。

(乗車料：大人300円 小中学生100円)



雪の国の語部たち (美濃和英さん)

この夏農舞台では7回の講座が行われました。この講座「野の師父」は越後妻有6市町村に住まう師父を囲み、その静かな言葉に耳を傾けようとする会で、師父たちが見、追い求めてきたもの、師父たちの背後を流れる時間を感じてもらおう講座となっています。

この講座「野の師父」は、方面において指針を失った私たちは、人と人、人と大地のつながりを再度考えなくてはなりません。この地域で生活してきた彼ら師父たちとの出会いには、それぞれ師父たちの見続けたゆえに刻まれる言葉、過言ない探求の意志を、次世代、次次世代の私たちへと発せられます。

上芸など、さまざまな分野の師父たちを、この夏農舞台へ呼びました。環境、教育、社会、多

この講座「野の師父」は、都市と農村との出会い、交流の場として9月以降も連続講座となります。



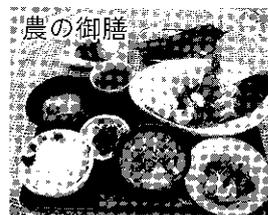
### 農の料理品評会

圏域内から49品出揃う

「この土地の名物料理は何ですか?」そんな旅行者の質問に対して自信をもって答えたい。農をテーマとして地域活性を目指す「農舞台」では、さる7月24日、大地の芸術祭6市町村(十日町市、川西町、津南町、中里村、松代町、松之山町)のお母さんたちによる食のコンテスト「農の料理品評会」を開催しました。

品評会には、25名から合計49品の料理が持ち寄られ、志田由彦さん(新宿調理師専門学校講師)など審査員や来場者の投票によりグランプリなど各賞を決めました。

そして、「農舞台」では、コンテスト出品者や専門家の指導をへて、この土地を丸ごと感じられる定食「農の御膳」としてメニューに加えました。



地元の食材に対する主婦たちの知恵と工夫が詰まった逸品。皆さんも、ぜひともご賞味ください。

〈主な受賞者〉

#### ■グランプリ:

鈴木 澄子さん(松代町)

「米と豆のおしくらまんじゅう」

#### ■準グランプリ:

宮沢美世子さん(十日町市)「ゆうごうの煮物」

鈴木 静枝さん(松代町)「ナスのグリーンあえ」

鈴木 ヨシさん(松代町)「甘味噌いぼ煮」

# 松代町出稼組合 設立四十年のあゆみ



正月帰省バスの到着で賑わう役場前（昭和48年）

今日は、父ちゃんの来る日だ。お姉さんなんか朝から「父ちゃんこないかな。父ちゃんこないかな」と何べんもくり返して言った。――  
母ちゃんと私とお姉さんは父ちゃんの長ぐつを持ってみふじやへ行った。近道をしよとずい道へ入った。暗くて誰もいなかった。恐かったけど、早く父ちゃんに会いたかった。向うから父ちゃんのような黒い形がこっちに向って歩いてきた。私はドキドキしながらとんで行った。「アッ やっ

ぱり父ちゃんだ」。それはやっぱり父ちゃんだった。私は父ちゃんの手にながらさがった。（昭和41年「ゆきの故郷」より 孟小三年（当時）石田まゆみさん）

春は、雪深い郷里の家族にとつて待ち遠しい季節である。遠い寒空の下で働く父を案ずる家族の思いと、つらい雪にも明るく暮らす家族を思う主の気持が重なり会い、一層家族に温かみを加える。

昭和42年には町内で1,500名を越える人々が、冬場の就労を求めて出稼ぎに就いた。当時の松代町の世帯数は約2,400戸。3戸に2人の割合で関東、中京方面へ向かい、家計を支えた。

古くは明治中頃から、酒造や染色の技術が見込まれた町民が、関東周辺の酒蔵や紺屋への出稼ぎしていたことから始まる。昭和30年代頃には酒造会社へ出稼ぎする人が150人を越えるほどだったが、国が戦後の高度成長期をむかえると高速道路、新幹線など都市部の社会資本整備のために、建設業や自動車産業での労働需要が増し、出稼ぎ者の職種も代わっていった。

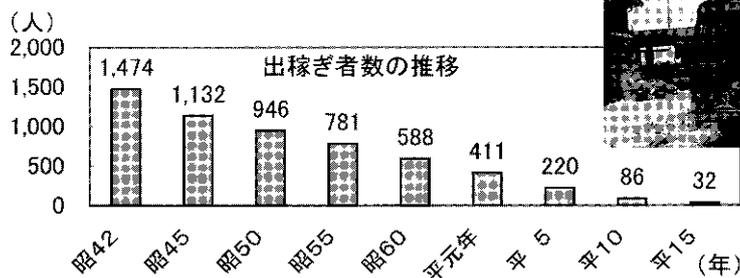
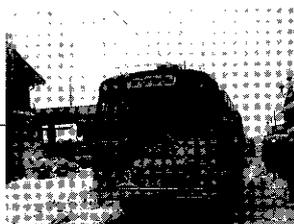
町も昭和20年代後半に職業係を創設して、専ら出稼ぎ者への職業斡旋や各種保険のとりまとめなどを行った。昭和38年に出稼ぎ就労にも雇用保険が適用されると、その事務も膨大になった。

その頃の町全体の出稼ぎ収入は8億円を上回り、兼業収入と合わせると農業収入を上回るほどだった。町の出稼ぎへの依存度は高まっていた。

## 出稼ぎ者を支えた

### 出稼組合

出稼ぎ者の労働条件の改善と生活安定・地位の向上を目指すため、昭和38年8月31日、松代町出稼組合（初代組合長 武田清市さん（名平））が設立された。組合は、出稼ぎ者の労働環境整備に向け大きく寄与した。



昭和40年代に入ると、組合は出稼ぎ者の作業技術向上のため、建設機械の技術講習や発破、地山の掘削作業などの講習会を行い、現場作業に必要な作業免許の取得を促して、より有利な出稼ぎ先への就労をはたらきかけた。

「出稼ぎ組合は、労使双方の信用の土台造りをしてください」現組合長の小堺貞男さん（松代）は思い起こす。出稼ぎ者にすれば、集団化することで不安の解消や勤労意欲を向上することができるし、一方、企業にすれば安定的な優秀な労働力が確保できることから期待感も強まり、互いの信頼が築かれていった。

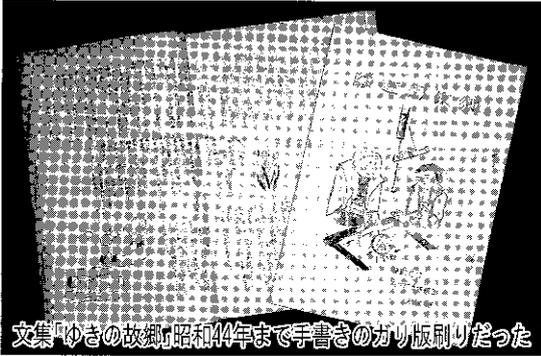


滝沢分校での出稼者励励会。児童から演劇や演奏が披露された（昭和59年11月）

## 家族をつないだ帰省バスと 文集「ゆきの故郷」

冬期間、世帯主の留守は家族にとっても出稼ぎ者にとっても心の負担であった。そのため、昭和41年より、正月集団帰省バスの運行を開始した。

東京上野発と名古屋発の2ルートで、昭和46年には約800名が利用した。年末の28日から3日間バスは運行された。便りで帰省の日が知らされると家族は浮き足立った。到着場の役場前では、待ち構えた妻子が満面の笑顔で出迎えた。「疲労感と不安が一気に吹き飛びました。出稼ぎ者も家族も同じ気持ちだったと思います」



文集「ゆきの故郷」昭和44年まで手書きのガリ版刷りだった

小堺忠吉さん（蓬平）は当時を振り返る。

また、小・中学生や妻たちが綴った手紙文集「ゆきの故郷」も家族の結びつきを強くした。

都会でひとり働く父を手本に、子どもを励ます母親。その母親を手助けする子どもたち。たくましく明るい雪国の家庭像が浮かぶ。だが、子ども心には「雪がなければ、働くところがあれば」と、冬に父と離れる寂しさが端々に現れる。昭和39年に創刊し、平成12年まで続いたこの文集は、互いの大きな励ましになったという。

## 築かれた信頼

道路の改良と無雪化、ほくほく線の開通など交通機関の整備は出稼ぎ先との距離的空間を埋めたものの、昭和50年以降高齢化とともに出稼ぎ者数も減少してきている。現在の松代町出稼組合員は32名。皆高齢をむかえつつも、そのまじめさが培った信頼は、今なお勤務先での欠かせない地位を築いている。

## 松代町出稼組合

### しぶみの家に軽乗用車

### ほのぼの園に衣類乾燥機を寄贈

「アルミ缶収集やヨモギの運搬など、施設での作業に役立つています」。軽乗用車の寄贈を受けたしぶみの家では、日々の作業に加え今年も稲作にも挑戦しています。「遠くの農地へも手軽に行けるとあって、作業の励みになります」としぶみの家では喜ばれています。ほのぼの園では、「冬場は施設内にロープを張って一日掛

りでタオルなどを乾してしました。毎日欠かせない洗濯も短時間で仕上がるので助かります」。洗濯物が心地よく乾いて衛生的なので利用者の皆さんからも好評です。



ほのぼの園に設置された衣類乾燥機

### 寄贈にあたり

松代町出稼組合長 小堺貞男

昨年8月、松代町出稼組合は結成40年をむかえました。

時代の変化とともに組合員も高齢化をむかえ、年々組合員数も減少している現状です。

日本の高度成長期の一役を担い、家族を支え社会に貢献できたことも、真面目に熱心に取組んでこられた諸先輩方の功績と信ずるところです。

ここに40年の節目を記念し、組合設立当初の目的である「町勢発展に寄与する」ため、当組合より松代町社会福祉協議会へ軽乗用車と衣類乾燥機を寄贈します。



「作業に励みが増します」と喜びのしぶみの家のみなさん（出稼組合役員のみなさんと共に）



寄贈された軽乗用車



小堺貞男組合長から目録の贈呈

## 第3号被保険者のあなたへ

# 加入手続きはお済みですか？



### 第3号被保険者とは……

厚生年金や共済組合、船員の年金制度に加入する人（第2号被保険者）に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者で、届け出した人です。

（年金の被保険者の資格を定めた国民年金法第7条第1項第3号に該当することから第3号被保険者といえます。）

第3号被保険者は自ら国民年金の保険料を納める必要はありませんが、第3号被保険者としての届け出が必要です。届け出が遅れたり、届け出しないしていると、将来年金が受けられなくなる場合がありますので、必ず加入手続きをしてください。



### 届け出の方法

第2号被保険者である配偶者の事業所で届け出手続きをしてください。

（健康保険の扶養届と第3号被保険者の届け出を同時に行います。）

### ■ 正しく理解してください ■

厚生年金などに加入している配偶者の給料から第3号被保険者の保険料が天引きされる訳ではありません。

配偶者の給与から天引きされると思い込んで届け出をしないと、届け出をしたが天引きされていないので国民年金に加入漏れになっているのではないかと心配される人がいますが、これはまったくの誤解です。

配偶者の加入されている厚生年金・共済組合の保険料は定められた率で計算されており、あなたの届け出によって天引きされる保険料の額が変わるわけではありません。

### 十日町地域衛生組合より

#### ダイオキシンの類排出濃度測定結果のお知らせ

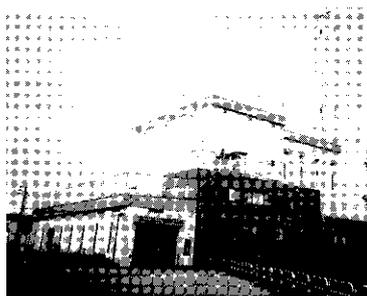
十日町地域衛生施設組合では、ごみ焼却処理施設（エコクリーンセンター）から排出されるダイオキシン類の測定を5月26日に行いました。

その結果、エコクリーンセンターの排ガスから検出されたダイオキシン類の濃度は、1号炉0・75 ng（ナノグラム）1 ngは10億分の1 g、2号炉1・0 ngでした。

この濃度の値は環境省が恒久対策基準（平成14年12月1日から）として示している5・0 ngを下回る結果です。ダイオキシン類の発生を

抑えるためにはゴミの減量化、リサイクルなどを推進するとともに施設の適切な維持管理運営を行う必要があります。

これからも廃棄物処理の安全対策について万全を期します。町民皆さんのより一層のご理解とご協力をお願いいたします。



エコクリーンセンター（十日町市）

### 東北電力(株)十日町営業所から 街路灯が寄贈されました

明るい地域づくりに向け防犯や交通安全に役立ててほしいと、7月13日に東北電力(株)十日町営業所（中條 所長）から蛍光街路灯9灯を寄贈していただきました。街路灯は設置要望のあった集落に配布する予定です。



目録を渡す中條所長

# ふるさと まつだいをこどもたちが見つめる 商工会イメージアップ事業 ちびっこ芸術祭

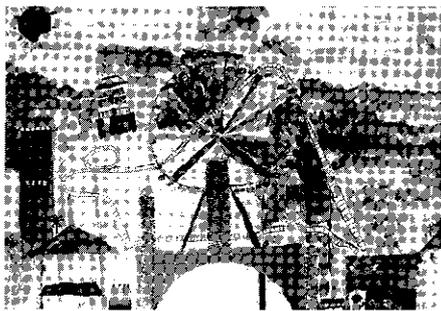
子どもたちが思い描く松代町の夢や希望、そして守りたい美しい風景。これらを絵で表現してもらい、地域商工業活性化のヒントに結びつけようと「ちびっこ芸術祭」が、松代観音祭に合わせて行われました。

参加したのは町内三小学校の児童176名。松代町をイメージする山や川、電車や文化村センターなどをモチーフに明るく楽しいタッチで描かれています。



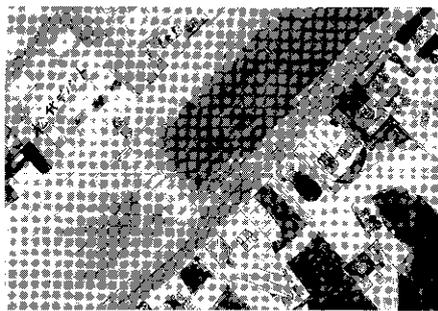
入賞した30名の児童たち

**教育長賞** 松代小5年 関谷友貴さん



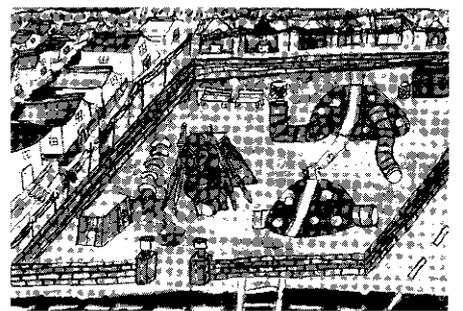
テーマ：未来の松代

**商工会長賞** 松代小3年 田辺楓香さん



テーマ：松代にデパートがあったらいいなあ

**町長賞** 奴奈川小6年 小堺裕介さん



テーマ：松代公園があったらいいなあ

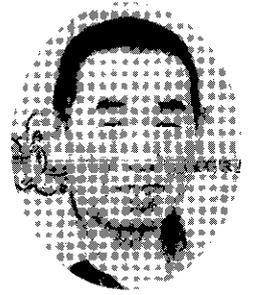
7月26日、まつだいふるさと会館ホールにおいて、夏期学園に訪れた港区六本木中学校2年生の生徒73名が、ホームステイでお世話になる町内の24世帯の家族などを招いて、合唱発表会を行いました。

「昨年訪れた先輩たちの話を聞いて、心待ちにして練習に励んできました」と生徒を代表して佐々木麻衣さんがあいさつ。教科の選択科目で音楽を学ぶ生徒もいるというほど音楽好きの生徒たちが、「ふるさと」など15曲を歌うと会場から大きな拍手が贈られました。

大自然とふれあい  
よい経験にしたい

## 越後田舎体験 港区六本木中学校 合唱発表会





# 初めて山平会に出席して

小堀長平

十日町市在住  
(儀明・板屋)

六月六日、あいにくの雨のなか上野駅に到着し、友人達(同級生九名)と池袋で待ち合わせて会場に入った。

以前から山平会の存在は知っていた。十年位前だろうが友人のすすめもあって入会だけはしたものの、これまで会合に出席することはなかった。

昨年十月、同級会の時に東京在住のY君から「楽しいから君もぜひ出席しないか」と誘われ「では来年は出席しましょう」と約束をした。

玄関を入るとすぐに知り合いの顔があつたので挨拶をしたら二、三人の人から「しばらく」といわれた。しかし、誰だか思い出せなかった。

指定されたテーブルに付き、顔と名簿を照らし合わせてみるとやっと思い出すことができてうれしくなった。

故郷を同じくするいわゆる

すなはま

はまりやく

約束手形

次回につづく

## 楽しいあいのあい



山平会会長 井上正美のあいさつ

夕テ関係の会合には、懐かしさと思ひ出の入り交じつたなるともいわれぬ楽しさがある。

私は儀明の出身であるが、現在は仕事の都合で十日町市に住んでいる。平成十七年四月一日に松代町とその他四市町村が合併するようにきている。

私達の小学生時代は戦後の食糧のない時代であった。それでも山を走り川で遊び、やがて腹ペコになり家に帰り冷



輪の一つのり踊り盆 なわけもた宴

飯にみそ汁をかけアサツキで夢中でむさぼり食った事を思い出す。おかずもなにもなくとも実においしかった。今でもどんな豪華な料理よりも、うまかったと信じている。

山平会のかもしだす温かい雰囲気は私達が子供の頃食べた汁かけ飯にアサツキの味がするような気がする。

来年もまた、その温かさにくれたくて出席をしようと思つている。

## 松代町町制施行五十周年記念式典参加

五地区めぐり一泊旅行

毎年十月恒例の日帰りバスツアーを計画してありますが、松代町で来たる十月十一日「町制施行五十周年記念式典」が挙行されます。東京松代会で去る六月八日の企画委員会に於いて、松代町最後のイベントでもありますので、その式典に皆さんで挙つて参加したいとの声が高まり、一泊二日で松代町へ訪問する事に決りました。皆様のご参加をお待ちしております。

- ・日 時 平成16年10月10日(日)・11日(月)
- ・会 費 男性 24,000円  
女性 22,000円
- ・宿 泊 松之山温泉 凌雲閣
- ・集合場所 上野駅公園口(往復観光バス)
- ・申込切 8月31日(火迄)
- ・連絡先 実行委員長 佐藤正則 伊沢地区副会長代行  
電話 03-3382-0211
- 実行委員 笠原 清 松代地区副会長  
電話 03-3692-3564
- 若井恒雄 峰方地区副会長  
電話 045-581-7155
- 柳 政直 伊沢地区副会長  
電話 0471-39-2263
- 井上正美 山平地区副会長  
電話 044-877-9611
- 小堀朝毅 奴奈川地区副会長  
電話 0423-62-5940

## 東京だより

### 報告

期日 平成十六年七月十九日(松代観音祭)  
町制施行五十周年記念

打ち上げ花火大会

祝 十号玉寄贈 東京松代会



## アザミのいろいろ

月山には山の愁いあり海には海の  
悲しみや まして心の花園に咲  
きしアザミの花ならば♪

伊藤久男の豪快な歌声に魅せられ  
て、一時は『NHKのど自慢』には  
必ず歌われた『あざみの歌』でおな  
じみのアザミは、キク科の多年草で  
す。単なる「アザミ」というのはな  
く、何々と頭文字が付きます。

春一番に早く美しく咲くのはノア  
ザミで、花の総包片の粘着部に小虫  
が貼り付いたりしています。ノアザ  
ミの改良園芸種が鉢植えや花壇にも  
見られます。「ドイツアザミ」もその  
一つで、「テラオカアザミ」ともいわ  
れるようにドイツには無関係とのこ  
と。

廃村になってしまった濁集落に、  
夏の間だけ老夫婦で訪れていた『上  
林』家の藤岡菊治翁が、植物方言取  
材に訪れた私にノアザミを「ジョウ

ロアザミ」と教えてくれました。花  
の妖艶さから棘持つ女性を連想した  
のかも知れません。

ノアザミは棘が密生しているので  
方言名ではオニアザミとも呼ばれま  
すが、すべてのアザミは料理すれば  
美味しく食べられます。

アザミの仲間は多くて、松代町に  
はナンブアザミ(クラアザミ)、サワア  
ザミ(ゴンボアザミ)、オニアザミ(和  
名上の)などがあります。松之山町を  
含むとタチアザミ(ヤチアザミ)があっ  
て、たまに栽培されているモリアザ  
ミ、(ヤマゴボウ)などが見られ、私が  
牧村から採取してきたダキバヒメア  
ザミも増えています。

どれも食用にはなりませんが、一般  
的には山菜の味覚としてはタチアザ  
ミが好評で、場所により密生してい  
るので、採取するにも都合がいいで  
す。

サワアザミは葉が広くて柔らかい  
ので、家の周囲に栽培して鶏の餌に  
刻んで与えたりしたものです。巨大  
なアザミで特異な品種です。

旅行先で見知らぬアザミに出会っ  
て、その正体を突き止めるのに苦労  
しますが、判明し得ないままのもの  
が多く、大いに悩みます。アザミは  
専門の学者がいるほどのものです。

(文と写真 高橋八十八)

## 自然体験教室で

### 松代を丸ごと体験



### 八王子市交流

7月23日～26日、旧菅刈分校  
で行われた自然体験教室には14  
名が参加。春にグラウンドの一角  
に植えた野菜のもぎ取りやキャ  
ンプファイヤー、そして海水浴などを地元の田沢・  
菅刈集落の八王子交流会の人たちと楽しみました。

23日には松代の柳武さんを講師に迎え、竹とんぼ  
づくりを行ないました。2時間ほどで仕上がった竹  
とんぼを飛ばすと、校舎には喜びの歓声が。

指導にあたった柳武さんは「生活の中でカッター  
を使うことがなくなりましたが、こうした体験も大  
切」と話していました。



早稲田大学で機械を使ったホイッスル作り



勝田台中学校での交流会

今年も町内三小学校5年生31名が、7月30日に  
行われた早稲田大学理工学部の科学実験教室に参加  
してきました。また、今回は6月に田舎体験の修学旅  
行で当町を訪れた際に、交流を通して親しんだ千葉  
県八千代市の勝田台中学校の生徒宅にホームステイ  
をして、相互交流を図り親睦を深めてきました。

# 「いざ！」に備えて万全のかまえ



婦人消防協力隊による放水演習



ラッパ隊の指揮で分列行進する団員

## 出動総員300名 松代町消防連合演習

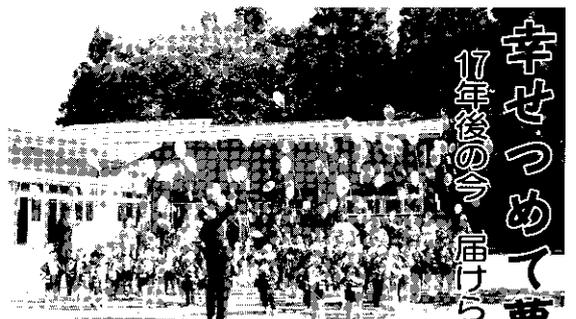


訓示を述べる市川嘉吉団長

合併をひかえ、松代町として最後となる消防連合演習が7月25日、炎天下の町民グラウンドで行われた。演習の内容は、例年実施される部隊演習、ポンプ操

法に加え、今年は町内21集落の婦人消防協力隊(42名)による放水演習が行われた。また、昭和53年以来26年ぶりとなる市中分列行進も行われた。陸上白衛隊高田駐屯地第二普通科連隊ラッパ隊(中川守隊長)による行進ラッパを指揮に、消防団員総勢300名が松代商店街を行進した。

## 幸せつめて夢つめて 17年後の今、届けられた真心



園児みんなで風船を放つ(昭和62年10月)

### 風船が運んだ「火の用心」

はじまりは17年前、雪降り間近の松代保育園。園児たちは思い思いの絵や言葉を添えた「火の用心」の短冊を風船に結わえて、宛てのない大空へと放った。高く舞い上がった風船は偏西風に乗り、三日後に約120km離れた栃木県栗野町の民家の庭先に舞い降りた。受け取り主は「まったく保育園 わかつきめぐみ」と書かれた名を頼りに、探すこと数日間。新潟県松代町であることを探し出すと、はるばる空の便りを、家の防火のお守りにしていたという。あれから17年間、時折交す

「今の子どもたちにもこのようないい思い出を」と話す若月恵さん(右)と甥の翔ちゃん



手紙の相手をめぐみさんは「風船のおじさん」と慕っていた。風船のおじさんは、あの当時の園児ももう家庭を持つような年頃だろうと、萎んだ風船と糸で結わえられた短冊をめぐみさんにお返しした。「これからは、あなたが家庭を持ったときのお守りにしてください」。17年間の思いを記した風船のおじさんからの手紙は、そう締めくくられていた。昭和62年10月、秋の火災予防運動で松代町幼年消防隊の発隊式の催しに、50個飛ばした風船のうち2個が栃木県に到達したことが確認された。北風強い季節柄、よく着いたものだと当時話題になった。園児の夢を満杯に膨らませた風船は、今再び幸せを結わえて見守っていくだろう。

人と人の心をむすぶ

あなたの身近な

人権擁護委員

宮沢静子さんへ功労表彰



表彰を受けた宮沢静子さん

大切な人権意識

「人権問題は幼い頃からの意識付けが大切です」。ちよつとの気の迷いから、取り返しのつかない事件に発展している現代の少年事件。教員を退職し、現在こども人権相談員も兼ねる宮沢さんは、胸を痛めます。命の尊厳や思いやりの心を育てることから人権意識を根付かせるため、普段の生活の中で家庭や地域で実体験に基づく教育が必要であると訴えます。

人権擁護は救済活動である人権相談にも増して、日頃の啓発・教育活動が重要である

松代町で人権擁護委員を務める宮沢静子さん（松代）が、6月18日に新潟県人権擁護委員連合会（風間士郎会長）より、長年にわたる地道な人権擁護活動に功績をたたえた功労表彰を受章しました。人権擁護委員は、地域社会の実情に通じた人権擁護に理解のある人を、市町村長が推薦し、法務大臣が委嘱した人です。新潟県内には現在約390名の人権擁護委員が、中立・公正な立場で、法務局と連携しながら、わたしたちの人権を守るための活動をしています。



相手の立場で考えて

ことから、町内の小中学校や保育園、各種団体などへ訪問して、人権に関する講演の開催やビデオ上映、紙芝居などで人権の大切さを伝えていきます。

男女差別や障害者・国籍差別、そして近年増えている高齢者・児童虐待など、わたしたちの身近な問題としてさまざまなトラブルが報じられています。宮沢さんは「人権問題」を正しく理解する上で大切なことは、常に、相手の立場に立って考え、行動するように努めることだと話します。なにげない一言が知らないうちに相手を傷つけたり、不快な思いをさせていることが少なくありません。日頃の意識の持ち方で多くのトラブルは解決できるはずですよ。

松代町では現在、宮沢さんと石黒良泉さん（室野）の2名が人権擁護委員として活躍しており、日常生活での相談に応じ、助言や紹介など問題解決への手助けをします。人権問題でお悩みの方はご相談ください。

スポーツ

各種大会の結果

青年大会

優勝 9年ぶり  
優 優 バスケツトボール（男子）

第49回東頸城郡青年大会 兼

第52回新潟県青年大会東頸城郡予選会

（7月4日／松之山中学校体育館）

1位 松代町（小野島友美主将）

※来月に十日町市で開催される新潟県大会に出場します。

第21回町内ソフトバレーボール大会

（7月18日／松代町総合体育館）

1位 Aチーム（高橋将樹代表）

2位 伊沢パワーズ（市川義久代表）

3位 フレンドチーム（若井正子代表）

ふれあいスポーツの日

（8月1日／松代町総合体育館・町民グラウンド）

●スマイルボーリング

1位 峠四班チーム

●グラウンドゴルフ

1位 樋口昭一さん

●ペタンク

1位 太平チーム

●スポレック

1位 千年Bチーム



グラウンドゴルフ

短歌

紫陽花の葉裏に殻脱ぐ蛸の  
生まれでるさまじつと見守  
る 柳 こめ

紫陽花よ色を変えるはいい  
けれどせめて最後は「あい」  
で終れよ 小堺 良治

返り咲く薄紫のクレマチス  
昨夜の雨に朝露とどめ 笠原 トミ

梅雨晴れの青葉すがしく昼  
寝覚め遠くかすかに蟬の声  
する

延び撓むアスバラガスの細  
き枝にその葉に雨の露が光  
れり 野石 念

蒲生句会

腑に落ちぬ所に泉湧いてを  
り 耕 山

梅雨晴間妙高山が丸見えに  
朴 雪

耳鳴りと共に生きゆく蟬時  
雨 耕 人

大花火町制施行五十年 折 人

水源にひっそりと咲く水芭  
蕉 山 路

天の川消えて寂しき里の空  
良 治

朝顔の気に入る様に繩を張  
る 翔 山

かなかなやゆぶねにいのち  
あそばせて 龍 峰

しづみ俳句会

頂上のあじさい祭り賑へる  
八千代

何もかも夕立のあと清すが  
し 紅 茶

山寺の参道清し道おしへ  
六 花

股のぞき天の橋立風薫る  
淡 水

吹き抜けの待合室に大七夕  
とし子

時鐘うつ僧を待つ上間梅雨  
枯 水

じめり 城山の道村総出して草を刈  
る 公 鳴

青田にも濃淡ありて風渡る  
瀨 舟

善意をありがとう

7・13新潟中部豪雨水  
害への救援用に、雑巾と  
タオルのご寄付をいた  
だきました。

◇寄付いただいた皆さん

●松代町赤十字奉仕団

菅刈分団

田沢分団

下山分団

蓬平分団

●堀川兼正さん(福島)  
(社会福祉協議会への寄  
付分)

母子家庭のお母さんの  
就業を応援します

母子家庭のお母さんの就業相談に応じる就業・自立支援センターがオープンしました。

家庭状況、職業能力の適性、就業経験などに応じて、専門の就業支援員によるアドバイスを受けられます。お気軽にご利用ください。

場 所：新潟市上所（新潟ユニゾンプラザ3階）

相談時間：月～金曜日  
午前9時30分～正午  
午後1時～4時30分

※上・日曜日に相談を希望される方は、事前にご連絡ください。

詳しくは、  
母子家庭等就業・自立支援センター  
TEL 025(281)5587まで

『放送大学』10月入学生募集中

放送大学は、いつでも、どこでも、誰でもが学べる、テレビ・ラジオで授業を行う正規の大学です。

■募集学生・募集期間

●教養学部（全科生・選科生・科日生）  
大学院修士科目生（8月31日まで）

●大学院修士全科生（9月14日まで）

★人文・社会・自然・産業等の幅広い分野の約300にわたる科目を開講しています。健康、福祉、心理に関する科目や、スキルアップに役立つ科目が数多くあります。

★各種国家試験受験者資格取得あるいは一次試験免除に必要な単位の一部または全てを取得できます。

■資料請求・問い合わせ先

〒951-8122 新潟市旭町通1-754

放送大学新潟学習センター

(TEL 025-228-2651)

人口の動き

男	2,008人	(+3人)
女	2,145人	(-6人)
計	4,153人	(-3人)
世帯数	1,483世帯	(±0世帯)

出生	3人	死亡	6人
転入	3人	転出	3人
(16年7月末日現在)			

戸籍の窓口

(7月1日～7月31日)

元気な良い子に(出生)

村山 雅(室野) 春夫・百花さん

小堺 真樹(春樹) ゆかりさん

(蓬平) かんねん

ご冥福を祈ります(死亡)

山岸 キミさん (東山) むこう 90歳

村山 チイさん (松代) まつやまや履物店 67歳

高橋ユキイさん (勘平) げんじん 75歳

若井 徳吉さん (蓬平) もざいもん 75歳

齋藤こきんさん (田野倉) どうのした 90歳

山賀 たけさん (松代) やまがモーターズ 86歳

## 町の行事予定 (8・9月)

8/21(土)	
22(日)	
23(月)	松代・松之山チャレンジ塾 シリーズふるさとめぐり 13:30～ 処暑 集合 普刈駐車場
24(火)	三種混合予防接種 総合センター 13:00～
25(水)	
26(木)	
27(金)	松代・松之山チャレンジ塾 シリーズふるさとめぐり 集合 孟地小12:50 役場13:00 奴奈川小13:15
28(土)	
29(日)	
30(月)	中学校 第2学期始業式
31(火)	慰霊祭 松泉寺 10:00～ 糖尿病予防教室 役場第1会議室 13:00～ 小学校 第2学期始業式
9/1(水)	
2(木)	
3(金)	
4(土)	
5(日)	
6(月)	
7(火)	白露
8(水)	
9(木)	
10(金)	
11(土)	
12(日)	
13(月)	
14(火)	定例町議会(16日まで)
15(水)	老人の日 老人週間 町制施行50周年記念早稲田大学 マンドリンクラブ演奏会 農舞台
16(木)	
17(金)	
18(土)	
19(日)	
20(月)	敬老の日 動物愛護週間

### 編集後記



駅から歩いて30分足らず、遠くが見渡せて気分がいい。朝でも夕方でも、すくれない気分の日にはちよと早足加減で登るのがいい。好きな癒しの場所である。

## お知らせ

### ●～国民健康保険に加入しているみなさんへ～●

- 9月1日より、国民健康保険の保険証が更新されます  
現在、お使いの「空色」の保険証は、8月31日で使用できなくなりますのでご注意ください。新しい保険証の有効期限は、平成17年3月31日です。保険証の色は現在のものと同色の「空色」です。有効期限の切れた古い保険証は回収いたしませんので、各家庭で処分してください。

#### ●注意●

処分する際は、新しく交付された保険証を処分なさらないよう、保険証の有効期限をご確認のうえ処分してください。また、国民健康保険の保険証以外の保険証や受給者証を処分なさらないようご注意ください。

- ・●の国民健康保険被保険者証の交付を希望される方は手続が必要ですので役場住民課窓口へご連絡ください。
- 国民健康保険加入世帯ならびに老人保健該当世帯で住民税が非課税世帯の方は、入院されたときの食事代が減額されます。減額認定の申請が必要ですので、役場住民課窓口へご連絡ください。

(役場住民課 TEL 597-2220)

### ●第23回東頸城郡美術展覧会作品募集●

【開催日時】10月9日(土)～11日(月) 午前9時～午後6時

【会場】大島村多目的ホールふれあい館

【作品】絵画、彫塑・工芸、書道、写真の4部門

出品数は1部門一人3点以内(未発表のもの)

【出品資格】東頸城郡内に住所登録または、勤務する高校生以上の人

【作品提出】9月30日(木)までに松代町総合センターへ搬入してください。

詳細は事務局 松代町公民館 TEL 597-2301まで

### ●新潟県統計グラフコンクール作品募集●

県では、各種統計について理解していただくため、統計グラフコンクールを開催します。下記により作品を募集しますので、多数の作品の応募をお待ちしています。

【応募資格】小学生以上(年齢により部門が分けられます)

【課題】課題は自由。自ら観察・調査した結果、または新聞やインターネットなどで調べた結果をグラフにしてください。

【作品企画】B2サイズ(72.8cm×51.5cm) 紙質・色彩は自由

【締め切り】9月8日(木)

※詳細についての問い合わせ・申し込みは

新潟県総合政策部統計課まで(TEL 025-285-5511)



【休館日】  
毎週 月曜日・祝祭日  
【開館時間】  
毎週 火～金 13:00～18:00  
土・日 10:00～17:00

【電話】 597-2615  
【ホームページアドレス】  
<http://www.9.ocn.ne.jp/~m-tosho/>  
【メールアドレス】  
m-tosyo@beach.ocn.ne.jp

◆ 新しい本の紹介 ◆

\*\*\* 一般 \*\*\*

今すぐ使えるメンタルトレーニング選手用  
高妻 容一  
新百人一首をおぼえよう 佐佐木幸綱  
命をくれたキス「車椅子の花嫁愛と自立の16年」  
鈴木ひとみ  
「なんでだろう」から仕事は始まる！  
良寛入門 小倉 昌男  
トリアングル 加藤 信一  
水泳 俵 万智  
透明水彩でスケッチ散歩 糸井 統  
青木 美和

\*\*\* えほん・じどう \*\*\*

どうぞのいす 香山 良子  
ないたあかおに 浜田 廣介  
ぼくがおっぱいをきらいなわけ 磯 みゆき  
ますだくんのランドセル 武田 美穂  
なんで学校に行きたくないんだらう？  
こんのひとみ  
心の言葉① こんのひとみ  
家族 あなたのための小さな物語 赤木かん子  
かいけつゾロリとなぞのまほう少女  
原 ゆたか  
神かくしレストラン 松谷みよ子  
わたしはあなたのこんな所が好き  
堀川 波  
川原の石ころ図鑑 渡辺 一夫  
おじいちゃんのゴーストフレンド  
安東みきえ  
図鑑NEO 星と星座 八巻 孝夫  
らんらんらくご まんじゅうこわい 斉藤 洋

お知らせ

自由研究は終わったかな！  
図鑑もたくさん そろってる  
図書館でお勉強はいかがかな。  
8月14、15、16日は  
休館になります

「なんでだろう」から仕事は始まる！  
小倉 昌男 著  
宅急便を世に送り、福祉の世界に身を投じた伝説の経営者が語る「仕事とは、働くこととは」の真髓！  
(講談社発行)

7・13新潟県中部豪雨水害



7・13豪雨により災害に見舞われた皆様に  
謹んでお見舞い申し上げます。

壁に残った腰の高さまである浸水の跡が生々しい。床下に堆積した泥が豪雨災害の惨状を物語る。7月13日、中越地区を中心に降った雨は、時間あたり最大で70ミリを越えたとこももあり、24時間雨量も400ミリを越える集中的な豪雨となった。「テレビを見ていたら、いてもたってもいられねっけの。町内放送の呼びかけに、すぐ申し込みました」7月21日と29日の2日間、被災地へ救援ボランティアとして参加した石田安一さん(芦島・おきのらは)は、社会福祉協議会の要請にいち早く賛同した。「やっぱり行ってよかった。現場を見たらほうっておけなくて、2回目も参加しました」。

被災地での主な作業は、床下に溜まった泥の除去。床板を剥いで、根



床下の泥を運び出すボランティアのみなさん

太を切り、もぐり込むように泥を掻きだして運び出す。無理な姿勢での作業は難渋をきわめた。  
樋口キクヨさん(松代・だいまるや)も同じだった。「気の毒に思えての、2回目は父ちゃんにも行ってもらいました」。協力できて嬉しかったという。「災害のときはお互いさまだんがの」と樋口さん。もてなされたぬるめの麦茶が、心に染みわたる。「がんばろうての」と家主に言った。  
横転した車、取り壊された家、大樹の倒木。防ぎようがない自然災害の威力に、救援ボランティアに参加した人は、人の助け合うことの大切さを改めて実感したといいます。  
災害に見舞われた地区の、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。